

## バチルス属由来のキサンタンリラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0925

Lot. No. (See product label)

## はじめに

*□明* 酵素学において、キサンタンリラーゼ(EC 4.2.2.12)は、ポリサッカライドであるキサンタ

ンのβ-D-マンノシル-β-D-1,4-ゲルクロンシル結合を切断する化学反 $\square$ を触媒する酵素です。この酵素は、ポリサッカライドに作用する炭素-酸素リラーゼのファミリーに属します。キサン

タンリラーゼは1987年に最初に同定され、部分的に精製されました。

*別名* キサンタンリパーゼ; EC 4.2.2.12

製品情報

**由来** バチルス属

*形態* 液体

**EC**番号 EC 4.2.2.12

**CAS**登□番号 113573-69-6

*分子量* ~ 81.6kD

**活性** ~ 3,035 U/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 6.0および40°CのHEPESバッファー中で、キサンタンガムに[]して1分あた

り1.0の吸光度の□加を引き起こすのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

*保存方法* 4°C